

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2018年(平成30年)4月15日号 No.1757

目次

■ 2017年のロシア・NIS諸国の経済(上)	1
■ 統計速報	10
2018年1～3月のロシアのブランド別乗用車販売台数/10	
■ エトセトラ	11
ノヴゴロド州投資プレゼンテーションのご案内/11	
■ キーパーソン	11
アゼルバイジャンでアリエフ大統領再選/11	
■ トピックス	11
2018年サケ・マス漁獲枠、日ロが上限合意/11	
JALがS7航空とのコードシェア路線を拡大/11	
米国の対ロ制裁、世界市場に影響/12	
■ 現地論調:米国の対ロ追加制裁をめぐるロシアメディアの論調	13

2017年のロシア・NIS諸国の経済(上)

はじめに

『経済速報』では毎年この時期、前年のロシア・NIS諸国(旧ソ連の新独立諸国)の経済統計を紹介し、各国の最新の経済動向について論評するという企画をお届けしている。本年も2017年のデータがほぼ出揃ったので、早速それを試みたい。なお、モンゴルは一般的にはNISの範疇に入らないが、2016年から本レポートの対象に加えている。

まず今号では、全13カ国の主要経済指標を図表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルのレビューは次号で扱う予定である。各国レビューの執筆は当会のスタッフによるものであるが、ロシアについては本年も北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの田畑伸一郎教授にご寄稿いただいた。

ロシア・NIS全般: 産油国主導の構図は変わらず

表1、2に見るように、CIS統計委員会の発表によれば、2017年のCIS全体の経済成長率は、約2%であったとされている。2015年のマイナス2.3%、2016年の0.4%に比べれば、パフォーマンスは